


ビリーグラハムの場合

それともう一つのポイントとして、太陽や月、あるいは全てのトランジットについて言えるのですが、ラシチャート上で惑星が在住しているハウスを通過する時の方が、いろいろ出来事を引き起こします。これは元々、惑星が在住しているハウスはそのハウスのテーマで何かが起こることを表わしています。ダシャーの論理で考えると、あるハウスに惑星が在住している場合、その惑星のダシャーが来れば、その在住ハウスのテーマが出てきます。

そして、太陽や月のトランジットは、その出来事が起こる引き金となります。

As		Ke	JuR	Ve	Su JuR	Mo Ma Sa	
					Billy Graham 1918/11/7 15:30 Charlotte, NC D/9		Ke
			Sa	Ra			Me
Ma Mo	Me Ra	Ve Su				As	

ビリーグラハムの場合、天秤座、蠍座、射手座に惑星が連続で集中しているので、太陽や月がこれらの星座を通過するときに8室、9室、10室の象意を強く経験することになります。

太陽は10月15日付近から天秤座入室し、11月15日付近に射手座から山羊座に抜けていくため、この10月15日～11月15日が彼が最も忙しい時期で、8室、9室、10室の象意を経験する時期です。

そして、10月15日～11月15日までの8室への太陽のトランジットの時期は、おそらくあまり好ましくない対人関係を経験する時期かもしれず、11月15日～12月15日は4、7室支配の水星が9室に在住してラージャヨーガを形成するため、巡礼や信仰の時期であり、聖書の学習などを通して、キリスト教信者に教えたり、学問的探究をして人とコミュニケーションする時期かもしれませぬ。

幸運な時期ですが、基本的に9室の学問、信仰、海外、教師などの現象を経験する時期です。

また12月15日～1月15日まで射手座通過の時期は、演壇に登って大衆に向かって説教し、激しくキリスト教の信仰を勧める時期かもしれませぬ。まさに10室に在住する火星、月の象意を刺激して、それらを顕現させる時期です。

何も惑星が在住していない7室に太陽がトランジットする場合も7室がテーマとなる時期となりますが、元々出生図に何も惑星が在住していない状態では、それほど強くそのテーマが出てくることはなく、やはり、起こりうるべき出来事が惑星によってデザインされているハウスを太陽や月が通過することが重要です。